

資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター）

レベル	学習者 プロフィール	知識と理解	汎用的な技能	職務上の技能				自律性と 責任感	倫理観と プロ意識
				専門実践技能	対人技能*1	分析技能*2	管理・指導技能		
8	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習者は、学問分野や専門的実務分野の最前線にある最先端の知見について、批判的理解を示す。 ● 新しく独創的な知見／実務につながる高度な研究を、主体的に実施・管理・統率する。 ● 論文、特許、製品、新規の高度な専門的実務、先進技術、創造的モデル、芸術作品や音楽などの形で研究成果を産み出す。 ● 専門分野の観点、主張、アイデアを、知識と自信をもって提示し、正しいと証明する能力を發揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学問分野または専門的実務分野の最先端で、課題となっている問題について、包括的、体系的、統一的で新しく複雑な抽象的アイデアを実証する。 ● 分野横断的な観点・知識・理解を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学問分野や専門的実務分野の最先端にある新しく複雑な抽象概念や課題を、批判的に分析・評価して、総合的に対応する。また、既存の概念や実務の高度化を図る。 ● 高度な研究手法・解析手法・技法を独力で用いて、現代の複雑で抽象的な新しい問題や課題を解決し、学問分野や実務分野の新しい知見、理論、解決策、実践方法を創造的に産み出す。 ● ピアレビューや国際基準を満たす独創性の高い研究により、新しい知見、理論、解決策、実践方法を産み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実用的・技術的な技法／実践方法や科学的技法を使いこなす高度な能力を發揮する。このような能力は、複数の分野の最先端において、複雑で最新の課題を解決するための技法、技術や解決策を開発するものである。 ● 複数の分野で、高度で専門的な研究方法を設計／実施／改良する能力を發揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 同業者、研究者コミュニティや一般社会に対して、当該分野の研究成果を効果的に伝える。 ● 学習の場や職場の人々、民族や職業が異なるグループ・ネットワークに所属する多様な人々に対応する。 ● 専門分野の情報、知見、アイデア、課題やその解決法について、同業者、研究者コミュニティや一般社会に説得力をもって理路整然と伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究・実務活動の質を高めるために、既存の手法／方法論を利用／選択／改善する、あるいは適切な新しい手法／方法論を開発する。 ● 数値データや図表データの批判的評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい知見を産み出し、実務、プロセスや製品の高度化に貢献する研究や資源管理について、主体性、自主性、権限をもって取り組む。 ● リーダーシップ、プロ意識、管理能力を發揮し、多様なパートナーと効果的に協力する。 ● 専門職／専門家レベルの新たな問題について、学術的および専門職の観点から、社会的、文化的進歩に貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身の仕事について、全面的に責任を負う。必要に応じて、所属する組織の运营管理全般にも説明責任を負う。 ● 生涯学習に対する知見と、新しいアイデア、解決策、システムの開発・融合を図る。 ● ベンチャー事業およびプロジェクトを起こしたり、そのリーダーになったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 法律上、職業上の行動規範や、倫理的に健全な行動規範を遵守する。 ● 倫理上、職業上の新たな課題を見だし、その複雑さや、専門分野における研究の進展や社会全体への影響を明らかにする。 ● 社会的、技術的、経済的発展に専門的立場から貢献する。
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習者は、学習／研究／専門的実務を進めることにより、高度な理論的知識、批判的思考、創造能力や革新能力に関する理解を基礎として、学問／実務の特定分野における高度な知識を習得する。また、課題に対して、新しい解決策を産み出す。 ● 世界でも、知識と能力を生かして、自信をもって行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学問分野または実務分野において、分析的・批判的評価を行い、複雑な情報や専門的な概念・理論・手法・実務をまとめ上げるために、独創性と主体性を發揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度な技術、手法、技能を活用して、新しいアイデア／画期的な実践法を産み出すためのアプローチを幅広く、総合的にを行い、知識を批判的・統合的に応用し、学問／実務分野における複雑な課題に対処し解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 標準的専門的研究手法／アプローチによって、最先端の知識や学問分野の最新動向から得られる実務技能・手法、研究手法を応用する。 ● 学問分野または実務分野の複雑な問題や課題に対処し解決する能力を發揮する。 ● 最低一つの外国語を使い、仕事や高度な学習を行う能力を發揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 同業者、専門家、素人に対して、最低一つの国際言語で、適切な方法を用いて、知識、技能、アイデア、評論、結論／論拠を明確に伝える。 ● 学習の場や職場の多様な人々や、民族や職業が異なるグループ・ネットワークと協力しながら仕事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究・実務活動の質を高めるために、適切なデジタル技術やソフトウェアを幅広く効果的に利用する。 ● 新しい解決策／課題に取り組むために、アプリケーションやシステムを調整する。情報／メディア・技術のアプリケーションを幅広く利用して、学習／研究／実務を支援する。 ● 数学的手法や他の定量的・定性的手法を活用して、学習／仕事の数値データや図表データを分析・評価するなど、評価業務を設計・立案する能力を發揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 職場やクラスで、かなりの自主性、主体性、リーダーシップ、対人技能を發揮する。 ● 複雑かつ予測がつかない状況下で、自分のチーム内の作業や他チームとの協働作業の企画、資源管理、監督、問題解決、作業管理に相当の責任を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究者や職業人として成長を続けることにより自己の向上を図る。 ● ベンチャー事業あるいはプロジェクトを起こしたり、そのリーダーになったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 法律上、倫理上、職業上の行動規範を遵守する。 ● 批判的洞察や倫理的配慮に基づき、複雑な問題について助言や決定を行う自信を示す。 ● 国や世界の社会的、技術的、経済的発展のために、専門的立場で貢献する。 ● 市民社会や世界が抱えるさまざまな問題に、自分の専門分野で取り組む能力を發揮する。

レベル	学習者 プロフィール	知識と理解	汎用的な技能	職務上の技能				自律性と 責任感	倫理観と プロ意識
				専門実践技能	対人技能*1	分析技能*2	管理・指導技能		
6	<ul style="list-style-type: none"> ●学習者は、専門分野での研究開発、創造性や革新が欠かさない準専門職の仕事に求められる、広範囲で体系的な知識と能力を理解する。 ●専門職業人としての姿勢・心構えと柔軟な対応力を持ち、倫理観ある職場文化や持続可能性に向けて取り組み、日本の国家目標に沿いながら国際社会の一員としての認識を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●理論や技術について、高度で総合的な知識を言葉で説明し、関連する専門分野の能力、または学習／研究／仕事／実務分野に関わる学際的な能力を発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習／研究／仕事／実務の分野で、批評的・分析的能力や評価能力を用いて、当該分野の知識の活用において知的主体性を発揮する。 ●複雑な用途を管理、解明し、創造的で画期的な解決策を用いて、予測できない問題に対処する。 ●学習／研究／仕事／実務の分野で、技能／知識をさまざまなアプローチに応用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広範囲にわたる複雑な問題の解決に、基本的な方法や手法を幅広く応用する。 ●専門分野に関する実務や手法の見直し、調整、監督を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な他者に対して、アイデアや考えを、文書および口頭で、適切な表現方法を用いて、自信をもって正確に理路整然と伝える。 ●学習や仕事などの多様なコミュニティの人々や、地域や国が異なる多様な人々と協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様なITツールやメディア、アプリケーションを幅広く使用し、学習／仕事を支援する。 ●数値データや図表データ／視覚データを組み合わせる学習／仕事に使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な組織的枠組みや制約の下で、自主的に仕事をし、各種業務管理でリーダーシップとプロ意識を発揮する。 ●自分や他者の業務について、相当レベルの責任を負う。 ●事前に定めた目標や成果に向けて仕事をすることで、意思決定能力とプロ意識を発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●選んだプロジェクトの中で企業家としての能力を発揮する。 ●自ら定めた方向で、生涯学習や職業の実現に向けて取り組む。 ●地域／国／世界の社会政治・経済・文化的に幅広い課題について認識を示す。 ●専門分野で、説明責任を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会的・職業上の多様な環境や実務の中で、倫理観を遵守し、倫理上の課題を明らかにし、倫理観を持って決定し、専門職業人として行動をする能力を発揮する。 ●地元や世界が抱える科学、技術、ビジネス、社会、環境の課題について、深い認識と知識を示す。
5	<ul style="list-style-type: none"> ●学習者は、相当量の理論的・専門的知識を持ち、職場で複雑な状況に対処することができ、組織や職業で求められることを理解し、それに従うことができる。 ●学習者は、倫理的にも、地域社会や世界で働いたり生活したりする場合にも、持続可能な方法を用いる能力を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●高度な専門知識が求められる分野で、予測不可能な多様な任務／仕事／学習に取り組むために、理論、概念、技術について広範囲の知識と理解を有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一つの専門分野または仕事において、専門的・概念的・理論的知識を詳細に認識し、解釈、応用、分析、評価する。 ●曖昧で複雑な定型的・非定型的な状況や、予測できない状況でも、限られた範囲のアプローチや自主性をもって、問題や課題を解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●実務能力を幅広く活用して、多様な学習や複雑な任務について、必須の方法論や手法を用いる。 ●関連した実施方法やプロセスの見直しや調整を行い、他の人々を監督する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会的、学術的、職業上の目的で、多様な聞き手に情報、アイデア、問題、解決策を伝えるために、分かりやすい方法で、説得力を持ち、効果的にコミュニケーションを取ったり交流したりする。 ●最低二つの言語で、高い会話力や文書作成能力を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様なITツールやメディア、アプリケーションを幅広く利用して、学習／仕事を支援する。 ●複雑で定型的、非定型的な数値データや図表データ／視覚データを解釈して使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相当な自主性をもって、かなり個人責任を負いながら仕事をすること。 ●職場で、資源の割り当てや他者の成績に関わる判断について、単独で経営的決断を下す。 ●責任を取ったり、説明責任を負ったりする能力を示す。 ●業務分野が明確でない場合を含め、新しい環境で、チーム・リーダーシップを発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●関連する特定の状況で、企業家的な能力を発揮する。 ●自ら方向を定めた生涯学習に効果的に取り組み、専門的な共同制作や研究に自主的に参加する。 ●地域や世界で、複数の言語が飛び交う多民族・多文化の状況下で、仕事や学習を行う能力を発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会的責任を果たす能力を発揮する。専門職業人に相応しい倫理的慣行や持続可能な慣行に従う能力を示す。 ●地域や世界で、持続可能な社会をつくるために貢献する。
4	<ul style="list-style-type: none"> ●学習者は、一般理論・原理について幅広い知識を獲得し、特定分野の学習／訓練の能力を発揮する。それにより、技術職・専門職・経営職の分野のキャリアにつながる専門的な仕事を行うことができる。 ●学習者は、進学への関心を示す。 ●学習者は、倫理観ある適切な行動を取ろうと努力し、世界の中の日本という視点で、日本の目標への理解を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●当該分野の学習／訓練の中で、複雑で定型的／非定型的な任務／学習を行うための複雑な理論的知識・能力について、広範囲にわたり体系的に把握・理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習／仕事の内容が明確になっている場合、最低限の監督を受けて、一般概念／理論／運用原理を認識・解釈・適用・評価する。 ●明確でありふれた問題や、日常的に見られない性質の問題を解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●実務能力、技法、手法を限られた範囲で応用し、求められた任務／仕事を行う。 ●定型的または非定型的な任務に関する実務やプロセスについて、必要に応じて検討と修正を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●他の学生や専門家、素人などに対して、アイデア、情報、問題、解決策を、口頭でも文書でも明確に伝える。 ●単独、またはチームメンバーの一員として、管理者や同僚、部下と効果的に交流する。 ●日本語のほかに最低一つの言語で、能力を発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習／仕事を支援したり、仕事や学習に関するデータを調べて処理するために、多様なデジタルツールを利用する。 ●所定の複雑な数値データや図表データ／画像データを解釈し活用する能力を発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな状況で実施される明確で非定型的な学習／任務について、幅広い助言や指導を受けて、かなりの責任感と自主性をもって仕事をする。 ●職場で各種チームの統率と管理を行い、問題に対処する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業家的な活動について調べたり参加したりする。 ●進学の可能性や自己研鑽の取り組み方を明確にする。キャリアや職業について現実的な目標を立てる。 ●地元・地域社会づくりにつながる専門的活動や市民活動に関心を示し、参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事において、組織の倫理や職業倫理を理解し、従う能力を示す。地域社会や世界で働いたり生活したりする場合、持続可能な方法を適切に用いる能力を示す。

レベル	学習者 プロフィール	知識と理解	汎用的な技能	職務上の技能			自律性と 責任感	倫理観と プロ意識	
				専門実践技能	対人技能*1	分析技能*2			管理・指導技能
3	<ul style="list-style-type: none"> ●学習者は、中級レベルの事実や原理原則について、基本的、理論的かつ専門的な知識を獲得する。必要に応じて、仕事に関するバランスの取れた能力を発揮する。 ●学習者の興味や仕事に関連する学習や訓練に興味を示す。 ●年齢相応に地域社会に参加し、世界の問題に対して年齢相応の認識を持つ。 ●英語など、日本語以外の一つの言語で、初級の言語能力を獲得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ある学習や訓練についてかなりの知識を持つ中で、基本的な原理原則、理論、技能を言葉で説明し、明確な各種の定型的任務/仕事に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●知識や、よく知っている手法、スキルを活用して、定型的任務/学習の予測できる問題を解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教師の監督の下で、情報、適切な手法やツール、技術、材料を使って、定型的・非定型的な任務/問題への取り組み/解決策を組織・運用し、完了させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●他の学生、専門家、素人に対して、単独で、あるいはチームで、口頭または文書によって、アイデア、情報、問題、解決策を効果的かつ明確に伝える。 ●日本語以外に最低一つの国際語の初歩的能力を養成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習/仕事を支援する基礎的なITアプリケーションを利用して、学習/仕事に関連するデータを調査、処理する。 ●よく知っていて分かりやすい数値データや図表データを解釈し、活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●最低限の指導監督で、かなり自主的に仕事をする能力を示す。 ●学習/仕事の枠内で、相手に助言を与える。 ●成果の質と影響についてかなりの責任を負う。 ●学習/仕事/任務の成果や成績について、よく考え、責任を負う 	<ul style="list-style-type: none"> ●最低限の指導監督下で、学習による自己研鑽やトレーニングを積んだり、進学を希望したりする。 ●日本および近隣諸国について、認識と一般的な知識を持つ。 ●企業家に求められる知識や能力について、基礎的な理解を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多文化環境の中で行う学習/任務で、職業倫理に従うことができる。 ●地域社会や世界に役立つ事柄（環境問題など）について、地域社会と積極的に関わる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ●学習者は、一定の環境で責任感と倫理観のある職業人として仕事を行うための知識と技能を獲得する。 ●進学や、積極的に生涯学習に取り組むことに関心を示す。 ●地域社会に参加する技能を高める。 ●英語など、一つの外国語の基礎的能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習のため、あるいは各種の定型・非定型の任務/仕事に取り組むために、複数の主題/分野の知識を言葉で説明する能力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●知識と技能を、明確な定型的学習/任務に活用する。 ●明確な定型的学習/任務において、よく知っている解決法を応用して予測できる問題を解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般的な基本手法、材料を用いて、指導を受けて、明確な任務を計画し、完成させる能力を発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●よく知っている日常的な事柄について、単純で直接的な情報のやりとりが必要な限られた状況で、コミュニケーションをとる。 ●日本語以外の言語一つの基礎的能力を高める。 ●進学準備に責任を持ち、準備に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教師の監督の下で、所定の任務を行うために、十分な、限られた基礎的なアプリケーションやITツールを利用して、簡単なデータを処理する。 ●少量の単純でよくある数値データや図表データを解釈する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体系化された活動において、監督の下で、ほとんど自主性なく、相応な支援を受けて、作業や仕事をする。 ●責任や説明義務をほとんど負わずに、チームで作業し、意見交換や相手へのフィードバックを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教師の指導を受けて、学習に一定の責任を担い始める。 ●任務や個人の行為・価値観について考える力を発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一定の個人の価値観を学習/任務の中で生かす能力を示す。 ●自分以外の文化や価値体系に触れ続けることで、文化的多様性への理解を深める。 ●政治意識や社会意識を高める。
1	<ul style="list-style-type: none"> ●学習者は、最低レベルの基礎的な一般知識・技能を獲得し、指導の下で、基本的かつ極めて定型的な任務を行い、さらに学習を進め、責任感と倫理観ある職業人になるための準備をする。 ●地域社会や、地方・国の制度について認識し、自分以外の世界に好奇心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●分野や対象の狭い範囲内で、単純で基本的な知識と技能を言葉で説明し、非常に定型的で予測できる任務および学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●定型的で明確で予測できる任務において、指導を受けて、基礎的な知識を活用する。 ●成果や成績について、考え、改善する力を発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●明確な任務について、各種の一般的な基本手法や材料を使う初歩的な技能を発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた状況の下で、馴染みある日常的な表現や簡単な言葉伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎的な数学的手法（記号など）を利用する力を示す。 ●教師の指導の下で、与えられた任務を行うのに十分な、いくつかの簡単な/基本的アプリケーションを利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●直接指導の下、支援を受けて、構成された活動/任務に取り組む。 ●単独またはチームで作業や仕事をする力を発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教師の働きかけと指導の下で、学習に一定の責任を担い始める。 ●教師の指導の下で取り掛かった/行われた任務について、検討・反省する力を発揮する。 ●学習や任務の中で、生かせる個人の価値観を明確にする能力を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会の責任あるメンバーとなり、自分以外の文化に対する配慮を示す。

*1コミュニケーション技能等についても記述する。*2デジタル・数的技能等についても記述する。

各レベルの目安

レベル8：専修学校（2）卒業後15～20年程度経過（35～40歳）、博士

レベル7：専修学校（2）卒業後10～15年程度経過（30～35歳）、修士、修士[専門職]

レベル6：専修学校（2）卒業後5～10年程度経過（25～30歳）、高度専門士、学士、学士[専門職]

レベル5：専修学校（2）卒業後2～5年程度経過（22～25歳）、専門士、短期大学士、短期大学士[専門職]、準学士

レベル4：専修学校（2）卒業後0～2年程度経過（20～22歳）、専門士、短期大学士、短期大学士[専門職]、準学士

レベル3：高等学校卒業（18歳）、専修学校（1）

レベル2：中学校卒業（15歳）

レベル1：小学校卒業（12歳）